

公益財団法人 米日カウンシル—ジャパン

U. S. -Japan Council (Japan)

2024 年度事業報告

2024 Business Report

I. 概要

公益財団法人米日カウンスルージャパン（以下本法人）は、第13年度の事業を終えるに至り、多岐にわたる活発でダイナミックなプログラムを通して、主たる公益事業における目標を数多く達成し、日本における人と人とのネットワークを一層拡大しました。また、持続可能な組織基盤を固めることができました。

本法人が企画且つ監督し、また実施においては協働パートナーの支援を受けた活動を通して、日米の多数の若者が TOMODACHI イニシアチブに参加しました。TOMODACHI プログラムに参加した多くの若者が、人生の転機となる経験をしています。有意義な国際交流により、参加者は多様で素晴らしい絆を結ぶことができました。また、プログラムで学んだことにより、若者たちは新たな興味を抱き、内なる自信を持てるようになりました。2024年には、教育・文化・リーダーシップの分野で、TOMODACHI プログラムを15件実施し、総計214人の日米の若者が参加しました。

本法人は TOMODACHI イニシアチブの活動の延長として、発足以来1万人を超えた TOMODACHI プログラム経験者に TOMODACHI アラムナイ・プログラムを提供しています。2024年度には TOMODACHI アラムナイ・プログラムとして65件の活動が実施され、参加したアラムナイ892名（2023年度の参加者835名より増加）がリーダーシップを強化するための経験、様々な出会いやスキルを得る機会を持ちました。

また、本法人は日米関係に共通の関心を持つ経済界や政府、非営利団体などのリーダーを対象に人々の交流を実施しました。本法人は、米国の米日カウンスルと共催で第14回アニュアル・カンファレンスを2024年10月28日から11月1日まで東京で開催しました。日米両国のあらゆる分野から700名を超えるリーダーが出席し、現在、最も優先されるべき事項に関して幅広く議論が交わされました。本法人のネットワーキング／一般教育プログラムであるビジネス・アドバイザリー・ボードは、本年度中に対面で3回実施され、日米のリーダー合計193名が日米関係における双方の関心事について議論をしました。また、日系アメリカ人ストーリーテリング・プログラムでは、本法人のメンバーが日本の若者に前向きな教育的メッセージを伝えています。日本国内の34大学の協力を得て、34名の素晴らしいスピーカーが合計58回のプレゼンテーションを実施し、1年2学期（春および秋）を通して1,557名の大学生が参加しました。

II. 目的

本法人は、日米関係にとって最も重要な側面である、日米のあらゆる世代の人と人とのつながりを推進し、教育、文化、経済における絆を強化し、日米両国の長期にわたる友好関係を深めることを目的としています。

本法人の中核事業は日米の次世代を育成する官民パートナーシップ、TOMODACHI イニシアチブ（TOMODACHI イニシアチブまたは TOMODACHI）の運営です。在日米国大使館との協力のもと、教育プログラムとスポーツ・音楽・芸術分野における文化交流プログラム、リーダーシップ・プログラムの3分野のプログラムを実施しています。また、本法人は TOMODACHI プログラム体験者を対象とした TOMODACHI アラムナイ・プログラムを運営しています。同プログラムはアラムナイが互いにに関わり合い、刺激を与え合いながら、リーダーシップスキルを継続して向上させるためのプログラムを提供しています。

本年度は、本報告書に記載した通り、本法人が選考し出資したプログラムの運営管理を行いました。また、TOMODACHI イニシアチブのいくつかの活動は、ワシントン DC を拠点とする米国非課税団体米日カウンシル(U.S.)の支援を受けて実施しています。

III. 事業

A. 公益事業—TOMODACHI 教育プログラム

教育プログラムの目的は、双方の国での体験を通して日米の若者に刺激を与え成長を促すことです。広範囲にわたる多様なプログラムを提供し、教育および交流の機会を通して日米の若者が関わり合いを持つことで、日米関係全般を強化することを TOMODACHI イニシアチブは目指しています。本法人が2024年度に支援した TOMODACHI 教育プログラムは以下の2件です。

TOMODACHI 住友商事奨学金プログラム
TOMODACHI カケハシ イノウエ・スカラーズ・プログラム

B. 公益事業—TOMODACHI 文化交流プログラム

文化交流プログラムは、日本人とアメリカ人がお互いの国について学び、長期にわたり、相互に関心を持続させるきっかけを提供します。本法人が2024年度に支援した TOMODACHI 文化交流プログラムは以下の1件です。

TOMODACHI ゴールドマン・サックス・ミュージック・アウトリーチ・プログラム

C. 公益事業—TOMODACHI リーダーシップ・プログラム

TOMODACHI は、次世代を担う若きリーダーを成功に導き、彼らが地域社会や母国、そして世界全体に前向きな変化を作り出すために必要なスキルと専門知識を習得するプログラムを実施しています。2024年度のプログラムには、高校生および大学生を対象としたリーダーシップ・プログラムが含まれました。本法人の支援で実施されたリーダーシップ・プログラムは以下の12件です。

Building the TOMODACHI Generation: Morgan Stanley Ambassadors Program

日本アムウェイ財団 東北ミライリーダー・プログラム

TOMODACHI Boeing Entrepreneurship Seminar

TOMODACHI-Dow Women's STEM Leadership and Research Program

TOMODACHI J&J 災害看護研修プログラム

TOMODACHI Kibou for Maui Program

TOMODACHI MUFG Sustainable Entrepreneurship Program

TOMODACHI Story Jam for Youth with Disabilities

TOMODACHI サマー・ソフトバンク・リーダーシップ・プログラム 2.0

TOMODACHI Tanaka Sangyo Agricultural Exchange Initiative: Climate and Food System Awareness Program

TOMODACHI Toshizo Watanabe Leadership Program

TOMODACHI - U.S. Embassy Go for Gold スポーツ・リーダーシップ・プログラム

D. 公益事業－TOMODACHI アラムナイ・リーダーシップ・プログラム

アラムナイ・リーダーシップ・プログラムは、日米の若者たちに刺激と活力を与え、TOMODACHI で得た経験をさらに前進させることを目的としています。経験を積み、スキルを向上させ、自信をつけることで夢を実現し、より良い世界の構築に貢献できる人材となるように支援しています。本法人は、アラムナイが強固で永続的な関係を築くために、関わり合い、刺激し合える多様な機会を提供します。

TOMODACHI アラムナイ地域フレームワークは、地域代表（RR）が日本の7地域、米国の5地域でそれぞれの活動を率いて、アラムナイが相互に関わり合い、交流するプログラムです。また、2024年には新しい役割・機会として、アラムナイがより多く関りを持てるようコア・コミッティー（CC）が設けられ、地域代表を支援しています。

2024年度のTOMODACHIプログラム終了時点で、TOMODACHI アラムナイは1万人を超え、TOMODACHI 世代と一員となりました。日本と米国の各地から参加したプログラム経験者は14歳から40歳と幅広い年齢層となっています。本年度は892名のTOMODACHI アラムナイが下記を含む65のプログラムとイベントに参加しました。全プログラムのうち23プログラムはアラムナイによって組織、運営されました。

● TOMODACHI アラムナイ地域フレームワーク

- 地域代表12名（日本7名、米国5名）がオリエンテーションを実施
- 7名の新規コア・コミッティーメンバーを歓迎（日本4名、米国3名）
- 2024年10月に地域代表とコア・コミッティーが東京でワークショップを実施
- 日本：北海道、関東、中部・北陸、関西、九州、沖縄にて地域イベントを15回開催

- 米国：ニュー・インブランド、ニューヨーク、ワシントン DC、ハワイにて地域イベント 7 回開催
- TOMODACHI Monthly Huddles を 10 回開催（2024 年 4 月ー2025 年 1 月）

● TOMO-KIN キャリアトーク

- 春開催（2024 年 3 月）ゲストスピーカー 河野 雅治氏 日本の元外交官 駐ロシア特命全権大使、駐イタリア特命全権大使
- 夏開催（2024 年 6 月）ゲストスピーカー 山口豪志氏 株式会社 54 代表取締役社長
- 冬開催（2025 年 1 月） 米日カウンスルージャパンと合同で新年会

● 次世代サミット 2024

- 2024 年 9 月 29 日に開催 192 名が参加
- アラムナイ 14 名が登壇し、経験を参加者に共有
- 日米の政財界のリーダーを含む各分野の専門家 8 名による講演、ワークショップを開催

● TOMODACHI ニュースレター・アラムナイハイライト（インタビュー）

- アラムナイが仲間であるアラムナイ 13 名のインタビューを実施し、マンスリー・アラムナイ・ニュースレター、マンスリーTOMODACHI ニュースレターおよび TOMODACHI のウェブサイトの記事に掲載

● 米国総領事館および日本大使館との協業イベント

- 那覇にて米国総領事館の支援を受け、地域イベント 1 回を実施
- ニューイングランド地域の TOMODACHI アラムナイ地域代表が在ボストン日本国総領事館にて地域イベントを開催
- 年に 3 回開催された USJC ビジネス・アドバイザー・ボードに総計 20 名のアラムナイが出席し交流の場に参加
- 首席公使キャサリン・E・“ケミー”・モナハン氏が次世代サミット 2024 の交流会で学生と交流し、レセプションでスピーチを実施
- 太田学氏（外務省 北米局北米第一課長）が次世代サミットでスピーチを行い、学生たちと交流

E. 公益事業－ネットワーキング／一般教育活動

本法人は、TOMODACHI イニシアチブに加え、日米関係の主要分野における絆を強化するため、ネットワーク構築と一般教育活動に取り組みました。

1. 米日カウンスルー・アニュアル・カンファレンス

本法人は米日カウンスルー（米国）と共に、『未来を共に築く：新しい時代の日米関係』をテーマに掲げ、米日カウンスルー・アニュアル・カンファレンスを東京で開催しました。第 14 回カンファレンスでは 700 名を超える参加者が一堂に会しました。重要な変化をもたらす解決を生み出すために日米両国が協力し、相互に学ぶ方法を探るプログラムを通して両国の絆を強化しました。

カンファレンスを締めくくる 10 月 31 日の全体会議セッションでは、TOMODACHI アラムナイ 2 名がスピーチを行い、4 名がパネリストとして登壇しました。

2. ビジネス・アドバイザリー・ボード

米日カウンスルと経済界の絆を強化するために、2014 年に創設されたビジネス・アドバイザリー・ボード (BAB) ミーティングが 2024 年度も継続して実施されました。米国と日本で功績を収めたエグゼクティブリーダーが BAB を率いています。本年度は下記のとおり対面でミーティングが 3 回実施され、合計 193 名のメンバーとゲストが参加しました。

第 32 回 BAB ミーティング (2024 年 1 月 24 日)

加藤 友明教授 コロンビア大学

「ウェルネスの追求：予防医療の現状と展望」

第 33 回 BAB ミーティング (2024 年 5 月 22 日)

津坂美樹氏 日本マイクロソフト株式会社 代表取締役社長

「生成 AI とビジネス変革」

第 34 回 BAB ミーティング (2024 年 9 月 4 日)

マーク・オカダ氏 シカモアツリーキャピタルパートナーズ L.P. 共同創設者
兼最高経営責任者

「大統領選挙を踏まえた米国市場の理解」

3. 日系アメリカ人ストーリーテリング・プログラム (JASP)

本プログラムでは、本法人のリーダーおよびメンバーが日本の大学で学ぶ若者に前向きな教育的メッセージを伝えていきます。プログラムの多様なテーマを反映し、JASP のスピーカーは、次世代を担う若いリーダーやシニア・エグゼクティブ、日系三世や四世、新一世、新二世、バイレイシャル／マルチエスニック日系人、私企業や非営利団体に所属する社会人、東京、沖縄、ハワイ、米国本土に居住する人など多岐にわたっています。移民が体験する寛容と共感、差別と偏見の克服、社会における多様性の強み、日米間の懸け橋の構築など、あらゆるテーマが取り上げられました。こういったテーマが個人的な家族の物語を通して語られます。

2020 年秋の立ち上げから、JASP は、日本全国の 50 を超える大学で 6,200 名以上の学生に 180 を超える個人的なストーリーを語ってきました。2024 年には日本国内の 34 大学の協力を得て、34 名の素晴らしいスピーカーが合計 58 回のプレゼンテーションを実施し、1 年 2 学期 (春および秋) を通して 1,557 名の大学生が参加しました。

IV. ガバナンス

本法人は引き続き定款に則り評議員会および理事会を運営します。

A. 役員

理事会（2024 年 12 月 31 日現在）

理事会役員

ヤマモト・オードリー・キヨミ・イワタ 代表理事
米日カウンスル会長兼最高責任者

高田 ヘンリー・聖一 代表理事
シンテックジャパン株式会社 代表取締役

前田 展枝 監事
PwC あらた有限責任監査法人 公認会計士

理事

大出隆
学習院女子大学 国際学研究所 顧問

ジェニファー・ロジャーズ
アシュリオンジャパン・ホールディングス合同会社
ゼネラル・カウンセル アジア

谷 美由紀
ペレグレイン・コンサルティング株式会社 代表取締役

亀田 綾子
大林組 執行役員 グリーンエネルギー本部副本部長

江端 貴子
代表理事 株式会社えばたたかこ事務所

評議員会（2024 年 12 月 31 日現在）

評議員

佐藤 スコット
サークレイス株式会社 代表取締役会長兼社長

大河原 愛子

株式会社デルソーレ 前代表取締役会長

津坂 美樹

日本マイクロソフトジャパン株式会社 代表取締役社長

ハンス クレム

米国研究製薬工業協会（PhRMA）日本代表

川原 ラッセル K.

渥美坂井法律事務所 パートナー

B. 役員会

本法人は 2024 年度において理事会 5 回、評議員会 2 回を開催しました。議事は以下の通りです。

2024 年 3 月 12 日 - 理事会（定足数を充たし成立）

- 第 12 期事業年度（2023 年 1 月 1 日から 12 月 31 日）の事業報告書および内閣府提出書類の「組織の状況概要と事業活動」の承認
- 第 12 期事業年度（2023 年 1 月 1 日から 12 月 31 日）の貸借対照表と損益計算書（以下財務諸表）、財務諸表の附属明細書、財産目録の承認
- 定時評議員会の日時および評議員会における報告と承認事項の提案
- 代表理事および事務局長による事業報告
- TOMODACHI イニシアチブの最新情報の報告

2024 年 3 月 19 日 - 評議員会（書面による全員一致の同意をもって成立）

- 第 12 期事業年度（2023 年 1 月 1 日から 12 月 31 日）の監査済み事業報告書ならびに附属明細書の承認
- 第 12 期事業年度（2023 年 1 月 1 日から 12 月 31 日）の貸借対照表、損益計算書（財務諸表）、財務諸表の附属明細書、財産目録の承認
- 理事、評議員、監査役の選任
-
- 第 13 期事業年度（2024 年 1 月 1 日から 12 月 31 日まで）の事業計画書、予算と収支、および「資金調達および設備投資の見込み」の報告
- 代表理事および事務局長による事業報告

2024 年 3 月 27 日 - 臨時理事会（定足数を充たし成立）

- 代表理事の任命

2024 年 6 月 6 日 - 理事会（定足数を充たし成立）

- 第 13 期（2024 年 1 月 1 日から 12 月 31 日まで）の監査法人の選任と承認
- 2024 年度の臨時評議員会の日時および開催場所
- 第 13 期事業年度（2024 年 1 月 1 日から 12 月 31 日まで）四半期財務報告書
- 評議員の選任
- TOMODACHI イニシアチブの最新情報
- 代表理事および事務局長による第 13 期事業年度の中間事業報告

2024 年 6 月 13 日 - 臨時評議員会（書面による全員一致の同意をもって成立）

- 評議員の選任

2024 年 9 月 9 日 - 理事会（定足数を充たし成立）

- 第 13 期事業年度の中間財務報告書
- TOMODACHI イニシアチブの最新情報
- 代表理事および事務局長による第 13 期事業年度の中間事業報告

2024 年 12 月 5 日 - 理事会（定足数を充たし成立）

- 2025 年度事業計画の承認
- 2025 年度予算案の承認
- 2025 年度の「資金調達および設備投資の見込み」の承認
- 2025 年度の評議員会の開催日時・場所の決定
- 2025 年度のアニュアルカンフェレンス収支の配分の承認
- 代表理事および事務局長による 2024 年度末の事業報告
- 2024 年 9 月 30 日付の中間財務報告書
- TOMODACHI イニシアチブの最新情報

C. 組織に関する最新情報

2024 年 12 月 31 日付 スタッフ一覧

池野昌弘－米日カウンスル（日本）COO/事務局長

橋本彩－TOMODACHI イニシアチブ プログラム・ディレクター

宇多田カオル－ディレクター、プログラム&パートナーシップ

加藤ひろみ－TOMODACHI イニシアチブ ファイナンス&ガバナンス・マネージャー

朝倉愛以－TOMODACHI イニシアチブ アラムナイプログラム・マネージャー

甲斐ちなみ－米日カウンスル（日本）ディベロップメント&アドミニストレイティブ・マネージャー

バギリンヴァノ 菜美子ーTOMODACHI イニシアチブ プログラム・マネージャー
渡部奈々ーTOMODACHI イニシアチブ プログラム・コーディネーター
谷保夏世ーTOMODACHI イニシアチブ プログラムコーディネーター
穴戸由加里ーオフィス・コーディネーター
高木香奈ーTOMODACHI イニシアチブ プログラム・アシスタント（パートタイム）

D. 会計

U.S. – JAPAN COUNCIL (JAPAN)
Financial Statements
For the Year from January 1 to December 31, 2024

Table of Content

- 1) Balance Sheet
- 2) Net Asset Gain and Loss Calculation Sheet and the detail by divisions
- 3) Explanatory notes
- 4) Supplemental Statement
- 5) List of Properties

U.S. - Japan Council (Japan)

Balance Sheet

As of 12/31/2024

(UNIT:JPY)

Account Items	As of December 31, 2024	As of December 31, 2023	VAR
I Assets			
1 Current Assets			
Cash and cash equivalent	6,322,734	49,889,346	-43,566,612
Total Current Assets	6,322,734	49,889,346	-43,566,612
2 Fixed Assets			
(1) Basic Funds			
Cash and cash equivalent	3,000,000	3,000,000	0
Total Basic Funds	3,000,000	3,000,000	0
(2) Specific Funds			
PC	555,805	466,549	89,256
Prepaid Insurance	555,500	496,380	59,120
Cash and cash equivalent-GENERAL Specific Funds	260,381,318	179,444,525	80,936,793
Cash and cash equivalent-TOMODACHI Specific Funds	274,019,118	267,345,816	6,673,302
Total Specific Funds	535,511,741	447,753,270	87,758,471
(3) Other Fixed Assets			
Total Other Fixed Assets	0	0	0
Total Fixed Assets	538,511,741	450,753,270	87,758,471
Total Assets	544,834,475	500,642,616	44,191,859
II Liabilities			
1 Current Liabilities			
Accrued Expenses - Vendors, etc.	3,830,283	3,748,068	82,215
Accrued Expenses - Due to USJC(US)	314,318	44,360,388	-44,046,070
Deposits Received	2,178,133	1,780,890	397,243
Total Current Liabilities	6,322,734	49,889,346	-43,566,612
2 Fixed Liabilities			
Total Fixed Liabilities	0	0	0
Total Liabilities	6,322,734	49,889,346	-43,566,612
III Net Assets			
1 Specified Net Assets			
Donation	538,511,741	450,753,270	87,758,471
Total Specified Net Assets	538,511,741	450,753,270	87,758,471
(Apportion to Basic Funds)	3,000,000	3,000,000	0
(Apportion to Specific Funds)	535,511,741	447,753,270	87,758,471
2 General Net Assets			
(Apportion to Basic Funds)	0	0	0
(Apportion to Specific Funds)	0	0	0
Total Net Assets	538,511,741	450,753,270	87,758,471
Total Liabilities and Net Assets	544,834,475	500,642,616	44,191,859

U.S. - Japan Council (Japan)

Net Asset Gain and Loss Calculation Sheets

From January 1, 2024 to December 31, 2024

(UNIT: JPY)

	Account	2024	2023	VAR
I	Changes in Net Assets			
1	Operating Activities			
(1)	Recurring Income			
①	Donation Income	394,698,551	279,064,144	115,634,407
	Amount Transferred from Specified Net Assets	394,698,551	279,064,144	115,634,407
		394,698,551	279,064,144	115,634,407
(2)	Recurring Expenses			
①	Departmental Expenses	382,217,984	266,424,103	115,793,881
	Salaries	51,981,893	47,761,122	4,220,771
	Legal Social Welfare	11,933,097	11,484,971	448,126
	Commuting Expenses	729,168	655,030	74,138
	Program Implementation Expenses	205,580,557	125,759,183	79,821,374
	Contracted Service (USJC-US)	15,274,733	26,680,360	△ 11,405,627
	Supplies Expenses	1,014,550	251,004	763,546
	Printing Expenses	334,818	757,958	△ 423,140
	Travel Expenses	7,337,398	4,440,412	2,896,986
	Meeting/Event Expenses	62,110,618	36,578,628	25,531,990
	Program Consultant	20,341,363	11,053,790	9,287,573
	Postage/Communication	3,058,765	888,289	2,170,476
	Website Expenses	2,521,024	113,356	2,407,668
②	Administrative Expenses	12,480,567	12,640,041	△ 159,474
	Supplies Expenses	49,603	11,778	37,825
	Travel Expenses	294,238	1,783,980	△ 1,489,742
	Depreciation	484,064	474,647	9,417
	Printing Expenses	217,360	276,760	△ 59,400
	Rental Expenses	1,936,360	2,450,581	△ 514,221
	Insurance Expenses	501,864	496,720	5,144
	Professional	7,545,459	4,671,696	2,873,763
	Postage/Communication	307,317	1,114,197	△ 806,880
	Welfare Expenses	28,004	599,225	△ 571,221
	Bank Charges	111,320	100,485	10,835
	Others	1,004,978	659,972	345,006
	Total Recurring Expenses	394,698,551	279,064,144	115,634,407
	Changes in Recurring Income/Expenses	0	0	0
2	Non-operating Activities			
(1)	Non Recurring Gain	0	0	0
(2)	Non Recurring Loss	0	0	0
	Changes in Non Recurring Gain/Loss	0	0	0
	Changes in Net Assets	0	0	0
	Beginning General Net Assets Balance	0	0	0
	Ending General Net Assets Balance	0	0	0
II	Changes in Specified Net Assets			
	Donation Income	469,760,707	414,394,453	55,366,254
	Interest Income	48,589	9,819	38,770
	Currency Exchange Revaluation	12,647,726	4,378,142	8,269,584
	Transfer to General Net Assets	△ 394,698,551	△ 279,064,144	△ 115,634,407
	Changes in Specified Net Assets	87,758,471	139,718,270	△ 51,959,799
	Beginning Specified Net Assets Balance	450,753,270	311,035,000	139,718,270
	Ending Specified Net Assets Balance	538,511,741	450,753,270	87,758,471
III	Ending Net Assets	538,511,741	450,753,270	87,758,471

U.S. - Japan Council (Japan)

Statement of Activities (by divisions)

From January 1, 2024 to December 31, 2024

(UNIT:JPY)

Account		Public Initiatives			合計
		TOMODACHI	General Education	Common	Grand Total
I	Changes in Net Assets				
1	Operating Activities				
(1)	Recurring Income				
①	Donation Income	241,158,972	141,059,012	12,480,567	394,698,551
	Amount Transferred from Specified Net Assets	241,158,972	141,059,012	12,480,567	394,698,551
		241,158,972	141,059,012	12,480,567	394,698,551
(2)	Recurring Expenses				
①	Departmental Expenses	241,158,972	141,059,012	0	382,217,984
	Salaries	33,580,456	18,401,437	0	51,981,893
	Legal Social Welfare	7,708,816	4,224,281	0	11,933,097
	Commuting Expenses	471,045	258,123	0	729,168
	Program Implementation Expenses	169,515,689	36,064,868	0	205,580,557
	Contracted Service (USJC-US)	7,607,272	7,667,461	0	15,274,733
	Supplies Expenses	877,915	136,635	0	1,014,550
	Printing Expenses	38,071	296,747	0	334,818
	Travel Expenses	4,229,660	3,107,738	0	7,337,398
	Meeting/Event Expenses	2,877,440	59,233,178	0	62,110,618
	Program Consultant	11,097,403	9,243,960	0	20,341,363
	Postage/Communication	2,310,685	748,080	0	3,058,765
	Website Expenses	844,520	1,676,504	0	2,521,024
②	Administrative expenses	0	0	12,480,567	12,480,567
	Supplies Expenses	0	0	49,603	49,603
	Travel Expenses	0	0	294,238	294,238
	Depreciation	0	0	484,064	484,064
	Printing Expenses	0	0	217,360	217,360
	Rental Expenses	0	0	1,936,360	1,936,360
	Insurance Expenses	0	0	501,864	501,864
	Professional	0	0	7,545,459	7,545,459
	Postage/Communication	0	0	307,317	307,317
	Welfare Expenses	0	0	28,004	28,004
	Bank Charges	0	0	111,320	111,320
	Others	0	0	1,004,978	1,004,978
	Total Recurring Expenses	241,158,972	141,059,012	12,480,567	394,698,551
	Changes in Recurring Income/Expenses	0	0	0	0
2	Non-operating Activities				
(1)	Non Recurring Gain	0	0	0	0
(2)	Non Recurring Loss	0	0	0	0
	Changes in Non Recurring Gain/Loss	0	0	0	0
	Changes in Net Assets	0	0	0	0
	Beginning General Net Assets Balance	0	0	0	0
	Ending General Net Assets Balance	0	0	0	0
II	Changes in Specified Net Assets				
	Donation Income	0	0	0	469,760,707
	Interest Income	0	0	0	48,589
	Currency Exchange Revaluation	0	0	0	12,647,726
	Transfer to General Net Assets	0	0	0	△ 394,698,551
	Changes in Specified Net Assets	0	0	0	87,758,471
	Beginning Specified Net Assets Balance	0	0	0	450,753,270
	Ending Specified Net Assets Balance	0	0	0	538,511,741
III	Ending Net Assets	0	0	0	538,511,741

US-Japan Council (Japan)
Explanatory notes to the financial statements
As of 12/31/2024

1. Significant Accounting Policies

(1) Donation

Donation are recognized as donation income in the period received in the Net Asset Gain and Loss Calculation Sheet, based on the donor imposed restrictions. In our balance sheet, donation which are received but still restricted by the donor at the end of the period, are reported and classified as specified fund. Such donation are classified from specified net asset to general net asset and reported as income upon the achievement of the program purpose and as the amounts become unrestricted.

(2) Consumption tax

We calculate and account for consumption tax based on tax-inclusive accounting method.

2. Balance of the basic fund and specified fund

Following sheet shows the balance of the basic fund and specified fund.

(Unit:Yen)

Subject	Beginning Balance	Increase within the period	Decrease within the period	Ending Balance
Basic fund				
Cash and cash equivalent	3,000,000	-	-	3,000,000
Subtotal	3,000,000	-	-	3,000,000
Specified asset				
Equipment	466,549	573,320	484,064	555,805
Prepaid insurance	496,380	555,500	496,380	555,500
General Fund	179,444,525	124,705,904	43,769,111	260,381,318
Tomodachi fund	267,345,816	257,050,142	250,376,840	274,019,118
Subtotal	447,753,270	382,884,866	295,126,395	535,511,741
Total	450,753,270	382,884,866	295,126,395	538,511,741

3. Breakdown of basic fund and specified fund

Following sheet shows the breakdown of basic fund and specified fund.

(Unit:Yen)

Subject	Ending balance	(amount of appropriation from specified net asset)	(amount of appropriation from general net asset)	(amount of liability)
Basic Fund				
Cash and cash equivalent	3,000,000	3,000,000	-	-
Subtotal	3,000,000	3,000,000	-	-
Specified fund				
Equipment	555,805	555,805	-	-
Prepaid insurance	555,500	555,500	-	-
General Fund	260,381,318	260,381,318	-	-
Tomodachi fund	274,019,118	274,019,118	-	-
Subtotal	535,511,741	535,511,741	-	-
Total	538,511,741	538,511,741	-	-

4. Asset subject to lien

N/A

5. The acquisition cost of fixed asset, amount of accumulated depreciation and the ending balance

Following sheet shows the acquisition cost, amount of accumulated depreciation and the ending balance of the fixed asset.

(Unit:Yen)

	Acquisition cost	Amount of accumulated depreciation	Book value
Equipment	3,897,771	3,341,966	555,805

6. Contingent liability for guaranteed obligation
N/A

7. Breakdown, increase and decrease amount and ending balance of grant
N/A

8. Breakdown of the amount of appropriation from specified net asset to general net asset
Following chart shows the breakdown of the amount of appropriation from specified net asset to general net asset.

(Unit:Yen)	
Contents	Amount of value
Amount of transfer to recurring income	
Amount of the income which became unrestricted upon the achievement of the program purpose	394,698,551
Total	394,698,551

9. Detail of internal transaction
N/A

10. Important subsequent event
N/A

E. 寄付者

AIG ジャパン・ホールディングス株式会社
EY Japan
fabbitt.
KPMG ジャパン（有限責任あずさ監査法人）
NTT グループ
PAG インベストメント・マネジメント株式会社
PEREGRINE CONSULTING 株式会社
PwC Japan グループ
あいおいニッセイ同和損保
アマゾンジャパン合同会社
イーソリューションズ株式会社
キッコーマン株式会社
サントリーホールディングス株式会社
ジェニファア・ロジャーズ

ジュニパーネットワークス株式会社
セルリアンタワー東急ホテル
ソニーグループ株式会社
パロアルトネットワークス株式会社
ビルバーン・クリストファー
ベイン・アンド・カンパニー
モルガン・スタンレー
ローヤン・ドイ
三井不動産株式会社
三精テクノロジー株式会社
三菱重工業株式会社
千代田化工建設株式会社
大出 隆
川原ラッセル&裕子
日本アイ・ビー・エム株式会社
日本アムウェイ合同会社
日本オラクル株式会社
日本マイクロソフト株式会社
日本産業パートナーズ
日本空港ビルデング株式会社
日本航空株式会社
日本電気株式会社
明治学院大学
東京海上ホールディングス株式会社
東急ホテルズ&リゾーツ
株式会社 デルソーレ
株式会社 ヒガ・インダストリーズ
株式会社 三菱 UFJ 銀行
株式会社 Sustech
株式会社えばたたかこ事務所
株式会社グローバルリンクラボ
株式会社スカパーJSAT ホールディングス
株式会社セブン&アイ・ホールディングス

株式会社ローソン
株式会社ロキグループ
株式会社大林組
田中正明&宏子
立命館大学
読売新聞社

TOMODACHI 寄付者
EVOLUTION Japan 証券株式会社
Hans George Klemm
PAG インベストメント・マネジメント株式会社
U. S. Japan Council
アコム株式会社
エクソンモービルジャパン合同会社
キッコーマン株式会社
ジョンソン・エンド・ジョンソン 日本法人グループ
ダウ・ケミカル日本株式会社
トヨタ自動車株式会社
一般財団法人日本アムウェイ財団
三菱 UFJ 信託銀行株式会社
三菱 UFJ 証券ホールディングス株式会社
住友商事株式会社
株式会社 チェリオコーポレーション
株式会社三菱 UFJ 銀行
田中産業 株式会社

MAP 寄付者
キッコーマン株式会社
サントリーホールディングス株式会社
公益財団法人戸部眞紀財団/大塚アメリカ Inc.
川崎 達生
株式会社クラウドワークス

菅 大介

F. 連絡先

公益財団法人 米日カウンスルージャパン

東京都千代田区紀尾井町4－1

ニューオータニガーデンコート 12F

電話：03-4510-3400